

令和6年度 行政評価について

実施日：令和6年5月30日（木）午後2時00分～3時40分

場 所：朝日村役場 第1・2会議室

委 員：5名

古 川 智 史	松本大学大学院 総合経営研究科 総合経営学部 総合経営学科 准教授	委員長
三 村 精 一	(株) 市民タイムス総務局長	副委員長
上 石 保 之	朝日村商工会長	
上 條 典 泰	松本ハイランド農協朝日支所代表理事	※欠席
大 井 浩 之	八十二銀行塩尻支店長	

○今年度は朝日村総合計画後期基本計画（令和7～11年度）策定年度であるため、令和5年度までの実績を前期基本計画（令和2～6年度）の総評として評価を行い、後年の後期基本計画策定の参考とする。

○令和5年度実績は令和6年4月末時点で把握できる実績見込み値としている。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

成果指標について

成果指標は総合計画前期基本計画（R2～6年度）に掲げる4つの柱（基本戦略）ごとに設定している指標（令和5年度末の達成状況）

基本戦略	達成状況（達成項目／取組項目）	
	100%	75%以上
1 魅力づくり	0/6	3/6
2 ひとづくり	1/3	2/3
3 地域づくり	2/4	3/4
4 持続可能なむらづくり	0/2	2/2
計	3/15	10/15

- ・目標値100%達成している項目が3項目（20.0%）、目標値に対し75%以上の実績値となっている項目が10項目（66.7%）
- ・定量評価（客観的な実績評価）の項目において、達成度合いは高い状況にあるが、住民アンケート（回答者の主観的な評価）に基づく項目においては、H30前回調査時より低い評価となった項目が多い。

施策指標について

施策指標は重点目標に対する 24 の主要施策の実現に向けた具体的な活動指標（75 項目）

（令和 5 年度末の達成状況）

基本 戦略	重点目標	達成状況（達成項目／取組項目）	
		100%	75%以上
1	1 出産・子育ての希望を叶える環境づくり	0/6	3/6
	2 誰もが暮らしたくなる環境づくり	0/5	1/5
2	3 村の産業振興と村民の雇用確保	3/8	4/8
	4 特色ある教育・生涯学習の充実	4/11	8/11
	5 誰もが活躍できる社会環境づくり	5/11	7/11
3	6 安心して自分らしく健康に暮らし続けられるしくみづくり	6/16	12/16
	7 安心して暮らせる基盤整備	4/11	8/11
4	8 持続可能なむらづくり	4/7	7/7
計		26/75	50/75

・目標値 100%達成している項目が 26 項目（34.7%）、目標値に対し 75%以上の実績値となっている項目が 50 項目（66.7%）

・指標達成度合いが低い項目において、要因集約すると概ね以下の区分となる

施策指標が未達となっている項目の要因

区分	要因項目	該当数
1	新型コロナ禍や自然災害等の予測できない特殊事情による事業への影響	8
2	目標（指標）設定の適正性の問題（設定の根拠及び妥当性・達成可能性）	14
3	取組の転換（事業内容の変更）等により指標の捉え方が変化した項目	8
4	取組が明らかに不足している項目（タスク量、プロセス管理不足）	1
5	取組（指標達成）を中止した項目	1
6	その他	0

評価委員からの意見・提言（主なもの）

（全体的な意見）

○後期の計画期間に向けて、KPI の指標の妥当性（適した KPI 指標であるか）を改めて検討いただきたい。行政側で実施したか否かで判断できる指標もあれば（例：道路施設～進捗率、公共施設の除去数など）行政側の取り組みだけではコントロールできない指標（例：生涯学習受講者数、消防団員数など）もある。

➤「行政として着実に取り組みができているかどうか」という指標

➤「朝日村としての最終目標」「成果指標」に向けて、どこまで到達できているかを判断する指標の精査が必要だと感じる。

○K P Iは目標（ゴール）に向かって着実に進んでいるかどうかというのをチェックするものであって、それを達成すれば良い、未達成なら悪いといった単純な話でもないと思う。最終的なゴールへのプロセスがどうかと言う点が一番大事なのかなとも思うので、指標ありきじゃないと言うか、そういった部分でも見ていかなければと感じている。

○施策評価シート（内部評価の総評コメント）について、全体的に「～検討する」「～を図る」といった記載が多く、各年度の取組をどう評価して、どう改善していくのかが不明瞭。最終年度の目標達成に向けて毎年度どういうアクションを起こし、どういう成果・課題が得られて、どう改善するのかがわかるよう、後期に向けて評価検証の方法を検討していただきたい。

（個別項目の意見）

○日本全体的に人口減少、地方の消滅可能性自治体といったような話題が上げられるなか、将来に向けてという点において、現在取組を進めている人口減少対策、少子化対策、移住定住対策という部分に尽きるのかと思う。移住希望者の地域要件のニーズは雇用・環境・教育・交通など様々な要素があると思うが、その全てを村に詰め込む（完結させる）ことは不可能であると思うので、点ではなく面といった広域的に考えて、その中での村の取組を尖らせるということをしていった方がよいと思う。

○産業振興という点について、今、結構空き家を取り壊したりして、空き地が目立つようになってきている。村では企業誘致を進めているようだが、大きな工業団地とかではなく、そういった土地を活用して小さく起業を始めようとしている希望者が利用できるような施策も考えていただけると良いかと思う。